

H167-210-216 ファー付きハンドバッグ



デザイン/中野和美

☆でき上がり寸法 口幅約24cm、深さ約15cm、マチ約11cm

☆使用糸

エレザ(9.5m巻)

使用色	使用量
グレー(No.9)	1.8玉

ルーポ(40g玉巻)

使用色	使用量
ブラウン(No.4)	1玉

☆副資材

あみあみファインネット(H200-372-2)黒…1/2枚
クラフトハンドル ハサミカン付(H210-217-2)黒・銀…1組
足折式底鉄(H206-055-1)直径10mm・銀…4個

☆使用針

ハマナカプチアミ10号、毛糸とじ針(H250-706)6本セット

☆用意するもの

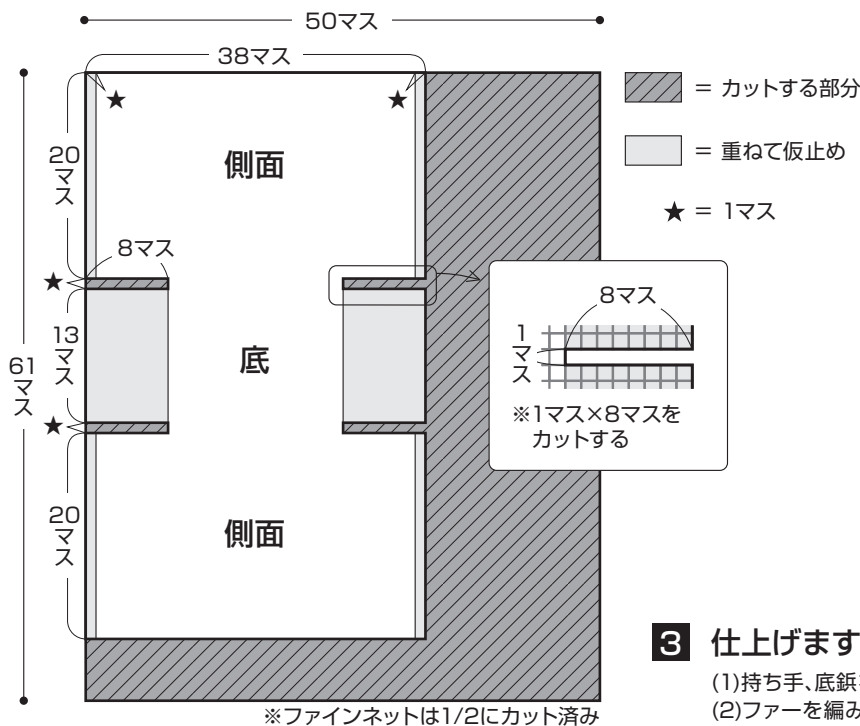
クラフトハサミ(H420-001)、テープ手芸用両面テープ(H204-514)メジャー、ペンチ

<2021A/W>

この作品はレシビ2枚です(2-1)

1 ネットをカットし、組み立てます

下図のようにネットをカットします。側面は両端を1マスずつ、底と側面は8マス重ねて別糸またはネット固定パーツで仮止めします。



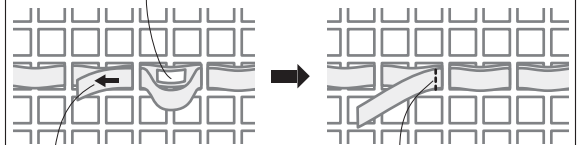
<テープ手芸の基礎>



エレザには表裏があります。レザーの面が表になるように通し、ネットを2~3回拾ったら、テープをまっすぐ引きます。伸縮性があるので、たるまない程度に引き、強く引っ張らないようにします。また、無理に引くとネットが切れる場合があります。通しにくいところは、付属のテープ手芸用とじ針の使用をおすすめします。

始末の仕方

①両面テープをつける



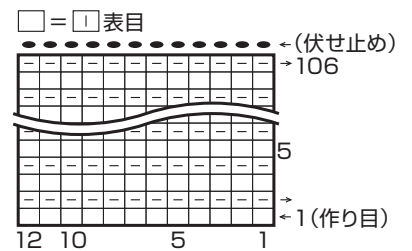
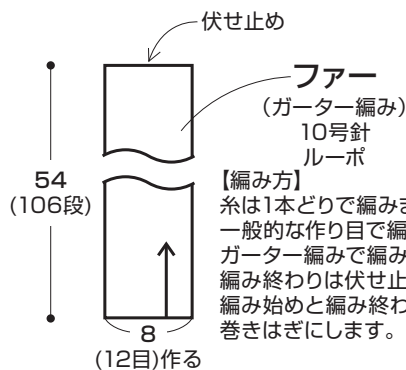
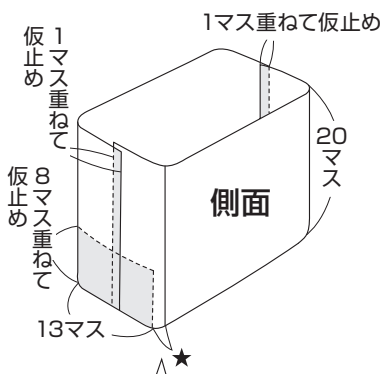
②テープを引く

③カットする

通し終わりは2~3回重ねて通し、両面テープをつけ根元でテープをカットします。

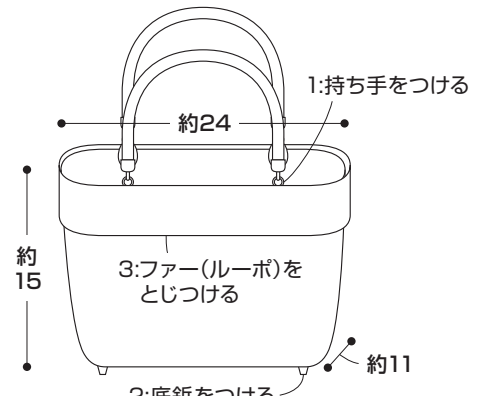
3 仕上げます

- (1) 持ち手、底鉄を指定位置(2-2参照)につけます。
- (2) ファーを編み、本体にとじつけて仕上げます。

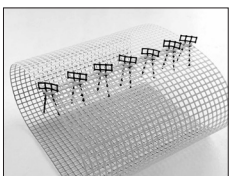


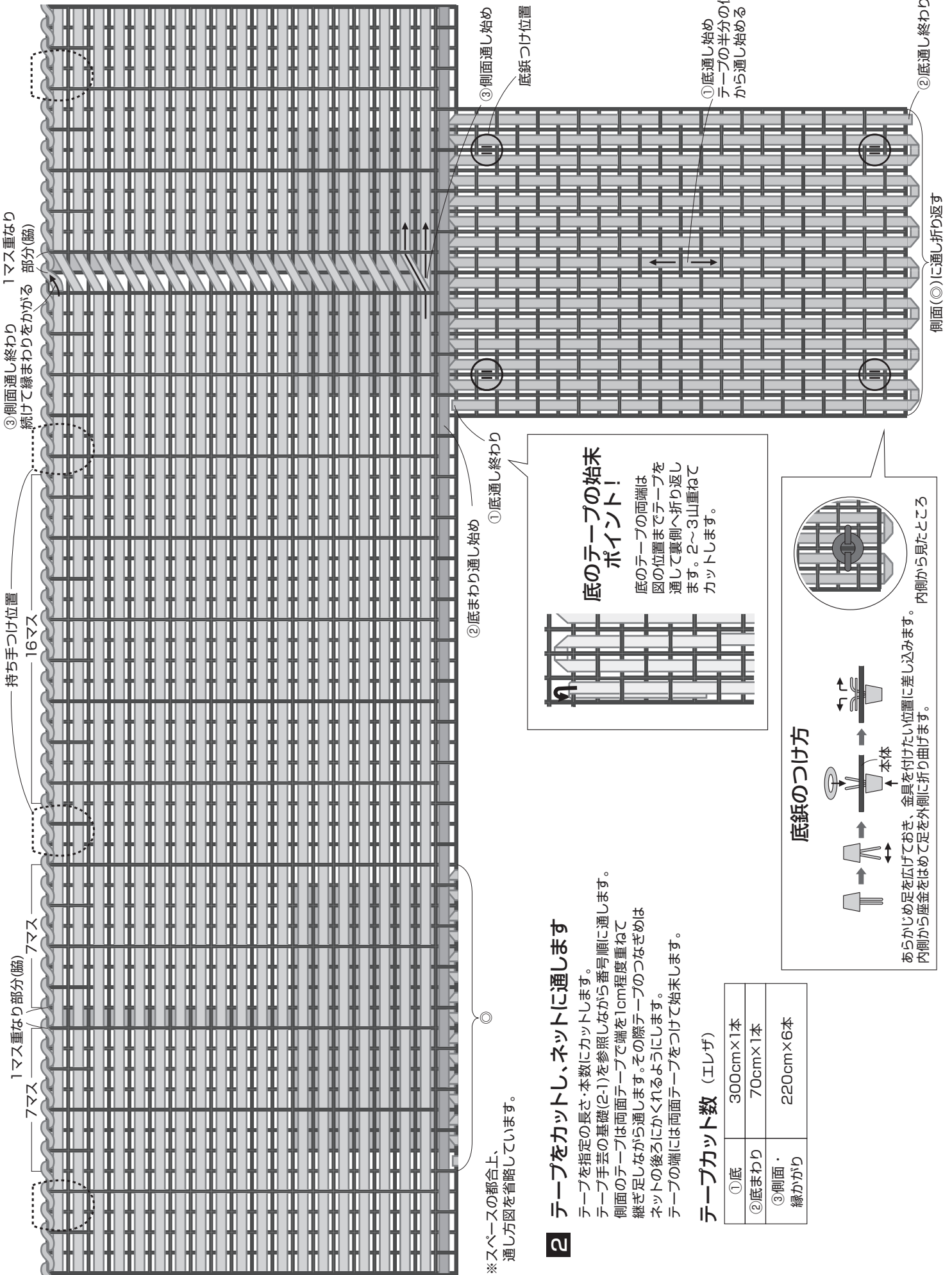
*バッグの口幅に合うように編むので段数は目安です。

でき上がり図



余ったネットで作れる
ネット固定パーツをご紹介します!





※スペースの都合上、通し方図を省略しています。

2 テーブをカットし、ネットに通します

テーブを指定の長さ・本数にカットします。
 テーブ手芸の基礎(2-1)を参照しながら番号順に通します。
 側面のテーブは両面テーブで端を1cm程度重ねて
 縦ぎ足しながら通します。その際テーブのつなぎめは
 ネットの後ろにかくれるようにします。
 テーブの端には両面テーブをつけて始末します。

テーブカット数 (エレザ)

①底	300cm×1本
②底まわり	70cm×1本
③側面・ 縁かかり	220cm×6本

底のテーブの始末ポイント!

底のテーブの両端は図の位置までテーブを通して裏側へ折り返します。2〜3山重ねてカットします。

底鉄のつけ方

あらかじめ足を広げておき、金具を付けない位置に差し込みます。内側から座金をはめて足を外側に折り曲げます。

内側から見たところ